

廃棄物処理施設の維持管理の状況

施設名	高山市資源リサイクルセンター
施設の種類	焼却施設
年度	平成31年度

1. 処分した一般廃棄物の各月の種類及び数量

a.種類	可燃ごみ(産業廃棄物を一部含む)												
b.数量(t)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	合計
1号炉	1,101.59	688.19	1,043.38	1,143.08	1,058.93	1,102.81	355.14	1,230.34	936.02	996.81	1,078.00	1,148.47	11,882.76
2号炉	1,030.00	787.68	1,165.61	1,023.41	1,188.19	934.24	1,287.23	1,044.22	1,020.07	734.30	308.07	1,108.45	11,631.47
合計	2,131.59	1,475.87	2,208.99	2,166.49	2,247.12	2,037.05	1,642.37	2,274.56	1,956.09	1,731.11	1,386.07	2,256.92	23,514.23

2. 燃焼状況(焼却を行った日における連続測定結果の日平均値を月平均にした数値)

a.燃焼室中の燃焼ガス温度(測定位置:燃焼室出口、管理基準値:800℃以上)													
温度(℃)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	年平均
1号炉	902	876	911	920	900	887	890	907	906	922	931	922	906
2号炉	915	908	928	922	913	912	931	920	915	935	932	920	921
b.集じん器流入燃焼ガス温度(測定位置:第2次ガス冷却室出口、管理基準値:200℃以下)													
温度(℃)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	年平均
1号炉	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
2号炉	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
c.排ガス中の一酸化炭素濃度(測定位置:集じん器出口、管理基準値:100ppm以下)													
濃度(ppm)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	年平均
1号炉	9	28	9	9	4	7	7	3	5	7	4	8	8
2号炉	7	13	15	8	7	7	3	6	4	16	17	16	10

3. ばいじんの除去を行った年月日

設備名称	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	備考
a.冷却設備	-	11	-	-	20	-	9	-	9	4	28	-	1号炉
(第1次ガス冷却室)	1	21	-	22	19	17	-	4	-	5	2	-	2号炉
b.排ガス処理設備	-	12	30	-	19	16	10	-	9	4	29	-	1号炉
(集じん器)	-	23	-	22	19	16	-	3	9	5	-	-	2号炉

4. ダイオキシン類の濃度

項目	測定日	結果報告日	測定位置	基準値	測定結果
排ガス(1回目)	令和1年7月31日	令和1年9月19日	集合煙突	1ng-TEQ/m ³ N	0.12ng-TEQ/m ³ N
焼却灰	令和1年7月31日	令和1年9月19日	灰コンベア	3ng-TEQ/g	0.33ng-TEQ/g
飛灰	令和1年7月31日	令和1年9月19日	飛灰貯留バンカ	(※)	2.7ng-TEQ/g
排ガス(2回目)	令和1年11月22日	令和1年12月23日	集合煙突	1ng-TEQ/m ³ N	0.10ng-TEQ/m ³ N

(※)飛灰(排ガスのろ過装置により集めた、ばいじん)は、薬剤で固めてから埋立しているため、基準値は適用除外となっています。

5. ばい煙測定結果(測定位置:集合煙突)

項目	基準値	測定結果(1回目)	測定結果(2回目)
測定日		令和1年6月14日	令和1年12月19日(※)
結果報告日		令和1年7月10日	令和2年1月13日(※)
ばいじん濃度	0.08g/m ³ N以下	0.003g/m ³ N未満	0.003g/m ³ N未満
硫黄酸化物濃度	17.5以下(K値)	0.17	0.11
	(※)	22ppm	15ppm
窒素酸化物濃度	250ppm以下	110ppm	120ppm
塩化水素濃度	430ppm以下	110ppm	130ppm
全水銀	50μg/m ³ N以下	13μg/m ³ N	2.0μg/m ³ N

(※)1回目の測定日におけるK値17.5に相当する硫黄酸化物濃度は、2,200ppmです。
 (※)2回目の測定日におけるK値17.5に相当する硫黄酸化物濃度は、2,300ppmです。
 (※)測定値の有効数字2桁で表示(3桁目は切り捨て)。
 (※)全水銀(2回目)の測定日は令和2年1月24日、結果報告日は令和2年2月14日です。

廃棄物処理施設の維持管理の状況

施設名	高山市久々野クリーンセンター
施設の種類	焼却施設
年度	平成31年度

1. 処分した一般廃棄物の各月の種類及び数量

a.種類	可燃ごみ												
b.数量(t)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	合計
1号炉	69.71	94.81	61.11	55.50	79.54	67.75	62.07	37.84	12.60	66.56	49.53	57.34	714.36
2号炉	68.87	86.48	59.54	53.45	72.43	63.87	60.38	78.88	39.81	48.34	48.46	52.69	733.20
合計	138.58	181.29	120.65	108.95	151.97	131.62	122.45	116.72	52.41	114.90	97.99	110.03	1,447.56

2. 燃焼状況(焼却を行った日における連続測定結果の日平均値を月平均にした数値)

a.燃焼室中の燃焼ガス温度(測定位置:燃焼室出口、管理基準値:800℃以上)													
温度(℃)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	年平均
1号炉	908	913	900	881	885	880	898	885	897	876	886	893	892
2号炉	895	907	900	899	899	884	894	868	883	888	882	913	893
b.集じん器流入燃焼ガス温度(測定位置:第2次ガス冷却室出口、管理基準値:200℃以下)													
温度(℃)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	年平均
1号炉	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
2号炉	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
c.排ガス中の一酸化炭素濃度(測定位置:集じん器出口、管理基準値:100ppm以下)													
濃度(ppm)	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	年平均
1号炉	30	33	31	33	36	29	24	31	36	23	23	31	30
2号炉	35	35	31	30	34	29	30	34	42	27	28	30	32

3. ばいじんの除去を行った年月日

設備名称	H31.4月	R元.5月	R元.6月	R元.7月	R元.8月	R元.9月	R元.10月	R元.11月	R元.12月	R2.1月	R2.2月	R2.3月	備考
a.冷却設備	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	2	1号炉
(燃焼室~ガス冷却塔)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	2号炉
b.排ガス処理設備	15	6	20	17	14	18	16	13	23	15	10	18	1号炉
(集じん器)	15	6	20	17	14	18	16	13	23	15	10	18	2号炉

4. ダイオキシン類の濃度

項目	測定日	結果報告日	測定位置	基準値	測定結果
1号炉排ガス	令和1年10月24日	令和1年12月10日	バグフィルター出口	5ng-TEQ/m ³ N	0.24ng-TEQ/m ³ N
2号炉排ガス	令和1年10月25日	令和1年12月10日	バグフィルター出口	5ng-TEQ/m ³ N	0.14ng-TEQ/m ³ N
焼却灰	令和1年10月25日	令和1年12月10日	焼却灰採取口	3ng-TEQ/g	0.25ng-TEQ/g
飛灰	令和1年10月25日	令和1年12月10日	飛灰採取口	(※)	2.3ng-TEQ/g

(※)飛灰(排ガスのろ過装置により集めた、ばいじん)は、薬剤で固めてから埋立しているため、基準値は適用除外となっています。

5. ばい煙測定結果(測定位置:集じん器出口)

項目	基準値	1号炉測定結果(1回目)	2号炉測定結果(1回目)	1号炉測定結果(2回目)	2号炉測定結果(2回目)
測定日		令和1年6月27日	令和1年6月25日	令和2年1月9日	令和1年11月11日
結果報告日		令和1年7月25日	令和1年7月23日	令和2年1月22日	令和1年12月4日
ばいじん濃度	0.25g/m ³ N以下	0.004g/m ³ N未満	0.004g/m ³ N未満	0.004g/m ³ N未満	0.004g/m ³ N未満
硫黄酸化物濃度	17.5以下(K値)	0.19	0.05	0.14	0.08
	(※)	36ppm	11ppm	24ppm	15ppm
窒素酸化物濃度	250ppm以下	140ppm	94ppm	110ppm	100ppm
塩化水素濃度	430ppm以下	60ppm	20ppm	25ppm	25ppm
全水銀	50μg/m ³ N以下	11μg/m ³ N	7.8μg/m ³ N	17μg/m ³ N	12μg/m ³ N

(※)1回目の測定日におけるK値17.5に相当する硫黄酸化物濃度は、1号炉が3,300ppm、2号炉が3,300ppmです。

(※)2回目の測定日におけるK値17.5に相当する硫黄酸化物濃度は、1号炉が2,900ppm、2号炉が3,100ppmです。

(※)測定値の有効数字2桁で表示(3桁目は切り捨て)。